

(記載例)

様式第3号の1

農地法第3条の3の規定による届出書

令和 7 年 4 月 1 日

喜多方市農業委員会長 様

〒 966-0001

住所 喜多方市字一丁目 1 1 1 1 番地

氏名 喜多方 太郎 印

電話番号 090-0000-0000

下記のとおり農地又は採草放牧地 についての権利を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出します。

記

1 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

フリガナ 氏 名	住 所	国籍等	在留資格又は 特別永住者
キタカタ タロウ 喜多方 太郎	☒ 届出者に同じ 〒	日本	

2 届出に係る農地又は採草放牧地の所在等

所在・地番 (喜多方市)	地目		面積(m ²)	以前の権利者
	登記簿	現況		
塩川町字二丁目 2	田	田	1,000	喜多方 一郎
塩川町字二丁目 3	田	田	1,000	喜多方 一郎
塩川町字二丁目 4	田	田	1,000	喜多方 一郎

3 権利を取得した日
令和 7 年 1 月 1 日

4 権利を取得した事由
相続により

相続登記申請書を添付する場合
や筆数が多いため記入できず別
紙を作成し添付する場合には、
「別紙のとおり」と記入。

5 取得した権利の種類

所有権 ・ 地上権 ・ 永小作権 ・ 質権 ・ 使用貸借による権利 ・ 賃借権 ・
その他使用及び収益を目的とする権利()

(該当する権利に○、その他の場合は()に具体的な権利名を記載)

6 権利を取得した農地又は採草放牧地の状況

亡父の喜多方一郎(以前の所有者)が耕作をしていたが、亡くなってから耕作していない状況にある。

7 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

有 ・ 無 (どちらかに○)

(記載要領)

- 1 届出者の住所、郵便番号、氏名、電話番号を記載してください。署名の場合は押印を省略できます。
- 2 届出者が法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 3 国籍等は、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の45に規定する国籍等(日本国籍の場合は、「日本」)を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国(内国法人の場合は、「日本」)を記載してください。
- 4 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の欄を人数分追加し、それぞれの住所等を記載してください。また、権利を取得した者が複数の場合は、記の1の「権利を取得した者の氏名等」欄を人数分追加し、全員の氏名等を記載してください。
- 5 記の2の「届出に係る農地又は採草放牧地の所在等」の以前の権利者欄には、当該権利が移転による取得の場合に、以前の所有者などの権利者の氏名もしくは法人名を記載してください。
- 6 記の4の「権利を取得した事由」には、相続(遺産分割、包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む)、法人の合併・分割、時効等の権利を取得するに至った事由を記載してください。
- 7 記の5の「取得した権利の種類」は、揭示の権利の中から該当する権利に○をつけてください。その他使用及び収益を目的とする権利の場合は、()に具体的な権利名を記載してください。
- 8 記の6の「権利を取得した農地又は採草放牧地の状況」には、取得した権利が所有権の場合は、現在耕作の状況、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。また、共有物として農地又は採草放牧地の権利を取得した場合であつて、届出者以外にも共有者がいるときは、その人数を記載してください。なお、人数がわからない場合はその旨を記載してください。
- 9 記の7の「農業委員会によるあつせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあつせん等を希望する場合は有に○、希望しない場合は無に○を付けてください。